

環境経営レポート



第36期

(対象期間：2023年 9月～2024年 8月)

作成：2024年9月27日

株式会社プラスサービス

目 次

1. 組織の概要

- (1) 事業許可一覧
- (2) 収集運搬車両の種類
- (3) 処理工程

2. 対象範囲

3. 環境経営方針

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 環境経営目標の実績

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

組織の概要は、次のとおりです。

項 目	内 容
事業所名	株式会社プラスサービス
代表者	加 納 義 信
所在地	本社：鳥取県鳥取市賀露町北四丁目17番13号 工場：鳥取県鳥取市気高町下坂本濱崎933-2
環境管理責任者名と 担当者連絡先	環境管理責任者：森 本 悟 行 担当者 ：森 本 悟 行 担当者連絡先 ：TEL0857-82-3956 FAX0857-82-3957
設 立	1989年（平成元年）7月
資 本 金	1,000万円
組 織 図	<pre> graph TD A["最高責任者 (代表取締役 加納義信)"] --> B["管理責任者 (工場長 森本悟行)"] B --> C["本社部門 (部門長 取締役 加納義也)"] B --> D["工場部門 (部門長 工場長 森本悟行)"] </pre>
事業活動の内容	<p>①産業廃棄物の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運搬及び中間処分業（破碎溶融、圧縮梱包） ・発泡スチロールリサイクル ・廃プラスチック（ペットボトル）リサイクル ・空缶（鉄缶、アルミ缶）リサイクル <p>②特別管理産業廃棄物収集・運搬業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染性産業廃棄物、廃酸の収集運搬
事業規模	<p>① 売上高 ： 6,028 万円（2023 年 9 月～2024 年 8 月）</p> <p>② 収集運搬量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物 ： 403.71t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） ・特別管理産業廃棄物： 320.74t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） <p>③ 中間処分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間処理量 ： 242.31t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） ・リサイクル原料化量： 228.17t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） <p>④ 再生資源回収収集・再資源化量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収収集量 ： 92.4 t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） ・再資源化量 ： 108.61t（2023 年 9 月～2024 年 8 月） <p>⑤ 従業員数 ： 9 名</p> <p>⑥ 敷地面積 ： 本社 27.0㎡ 工場 853.0㎡</p> <p>⑦ 延床面積 ： 本社 44.2㎡ 工場 450.6㎡</p>

2. 対象範囲

対象範囲は、当社の全組織・全活動です。

項 目	対象範囲
事業所名	株式会社プラスサービス
対象範囲所在地	本社：鳥取県鳥取市賀露町北四丁目17番13号 工場：鳥取県鳥取市気高町下坂本濱崎933-2

3. 環境経営方針

経営理念

1. 地球の環境を守り、人間の健康づくり、幸福づくりに貢献する。
2. サービス+サービス精神で、社会に貢献する。
3. 何事も、プラス志向（前向き・積極的）で対処する。

環境経営方針

【基本方針】

当社は、環境保全への取組みを企業経営の重要課題の一つと位置付け、産業廃棄物収集・運搬及び中間処分量、特別管理産業廃棄物収集・運搬業を通じて、環境に優しい「循環型社会への貢献」を目指します。

【行動指針】

- (1) 当社は、環境に与える影響を的確にとらえ、環境への汚染の予防及び環境保護を約束します。
- (2) 当社は、環境に関する法的及びその他の要求事項を遵守します。
- (3) 当社は、当社の事業活動を通じて環境経営目標を設定し、課題を解決しチャンスを活かし継続的な改善活動を行います。
その中の重要分野を①・②に定め、地球環境保全に取り組めます。
 - ①空缶・ペットボトル受入後の生産性の向上
 - ②軽油使用量の削減
 - ③電力・水使用量の削減
 - ④リサイクルの原料化による産業廃棄物の削減
 - ⑤地域貢献活動
- (4) 当社の環境経営方針は、当社従業員へ周知する。

制定日 2016年 4月 11日

改訂日 2023年 9月 1日

株式会社プラスサービス

代表取締役社長 加納 義信

文書名：環境経営方針書・版数：初版-04

4. 環境経営目標

環境への負荷の自己チェックの結果を踏まえ、2023年度の実績より、2026年度までの「環境経営目標」を次のとおり定めました。

【年度：9月～翌年8月】

環境経営目標		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度
エネルギーの有効利用で CO ₂ 排出量の削減	・CO ₂ 排出量の削減	58,642.72kg-CO ₂	—	—	—
	・電気使用量の削減	18,640kWh	18,455kWh 以下	18,270kWh 以下	18,090kWh 以下
	・軽油使用量の削減	19,259ℓ	19070 ℓ以下	18,880 ℓ以下	18,690 ℓ以下
(リサイクル)の推進 産業廃棄物中間処理	・空缶出荷量 鉄缶	13.0 t	13.1 t 以上	13.2 t 以上	13.3 t 以上
	・空缶出荷量 アルミ缶	26.9 t	27.1 t 以上	27.3 t 以上	27.5 t 以上
	・廃プラ圧縮量 (PP)	52.6 t	53.1 t 以上	53.6 t 以上	54.1 t 以上
産業廃棄物排出量の削減 (ガラスくず除く)		14.7 t	14.5 t 以下	14.3 t 以下	14.1 t 以下
水使用量の削減		125 m ³	124 m ³ 以下	123 m ³ 以下	122 m ³ 以下
3Sの実践		12 回	12 回以上	13 回以上	14 回以上
地域貢献活動の実施		4 回	4 回以上	5 回以上	6 回以上

[注-1] CO₂換算

電力 (中央電力) : 0.45kg - CO₂/kWh

[注-2] 2023年度を基準に、来年度の目標を見直します。

5. 環境経営活動計画

環境経営目標		環境経営活動計画
エネルギーの有効利用でCO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量の削減 ・電気使用量の削減 ・軽油使用量の削減 ・LPG使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適性化（冷房28℃・暖房20℃） ・エアコン点検（3カ月ごと）とフィルターの掃除 ・不要照明箇所の消灯 ・OA機器の省電力モード設定実施 ・準備作業の実施で設備稼働時間の短縮 ・アイドリングストップを含めエコドライブの実施 ・収集運搬ルート的事前調整で走行距離の短縮 ・タイヤ空気圧を適性値に保つ ・使用湯温を下げ短時間使用の実施
産業廃棄物中間処理（リサイクル）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・空缶出荷量 鉄缶 ・空缶出荷量 アルミ缶 ・廃プラ圧縮量（PP） 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底でリサイクル原料化する。 ・新聞広告により収集運搬量を増やす。 ・既存顧客に対する巡回営業と新規顧客の開拓
産業廃棄物排出量の削減（ガラスくず除く）		<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底でリサイクル原料化を図り、廃棄物を削減する。 ・設備のメンテナンス実施で稼働を維持する。
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・節水の励行 ・洗車時、バケツを活用
3Sの実践		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な清掃、汚した場合の清掃実施
地域貢献活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な地域清掃の実施 ・汚した場合の清掃実施

6. 環境経営目標の実績

2023年度（2023.9～2024.8）環境経営目標達成状況は、次のとおりです。

環境経営目標		目標	実績	達成度評価
エネルギーの有効利用でCO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量の削減 ・電気使用量の削減 ・軽油使用量の削減 	— 18,595kWh以下 20,520ℓ以下	58,642.72 kg-CO ₂ 18,640 kWh 19,259 ℓ	— △ ○
産業廃棄物中間処理（リサイクル）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・空缶出荷量 鉄缶 ・空缶出荷量 アルミ缶 ・廃プラ圧縮量（PP） 	11.1 t以上 18.2 t以上 41.5 t以上	13.0 t 26.9 t 52.6 t	○ ○ ○
産業廃棄物排出量の削減（ガラスくず除く）		13.0 t以下	14.1 t	△
水使用量の削減		115 m ³ 以下	125 m ³	△
3Sの実践		12回以上	12回	○
地域貢献活動の実施		4回以上	4回	○

[注-1] CO₂換算 電力（中央電力）：0.45kg-CO₂/kWh

[注-2] 達成度評価記号 ○：良好（100%以上）△：やや不足（90～100%）×：不適合（90%未満）

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2023年9月から翌年8月までの環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容は、次のとおりです。

環境経営目標	環境経営活動計画	取組結果	評価・次年度の取組内容
エネルギーの有効利用でCO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 空調温度の適性化（冷房28℃ 暖房20℃） エアコン点検（3カ月ごと）とフィルターの掃除 不要照明箇所の消灯 OA機器の省電力モード設定実施 準備作業の実施で設備稼働時間の短縮 アイドリングストップを含めエコドライブの実施 収集運搬ルートの事前調整で走行距離の短縮 タイヤ空気圧を適性値に保つ 	△	<ul style="list-style-type: none"> 電力の使用量は、受入量の増加で、稼働時間が増え目標未達成になった。 軽油使用量は、回収ルート・営業活動の見直し、目標達成出来た。 次年度は、電力使用量・軽油使用量の削減は、継続して取組む。
産業廃棄物中間処理（リサイクル）の推進	<ul style="list-style-type: none"> 空缶出荷量 鉄缶 空缶出荷量 アル缶 廃プラ圧縮量（PP） 	○	<ul style="list-style-type: none"> 空缶の鉄缶・アル缶・ペットボトル処理は、受入量の増加と効率稼働で目標達成できた。 次年度は今年度の実績を基に目標値を見直し、取り組む。
産業廃棄物排出量の削減（ガラスくず除く）	<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底でリサイクル原料化を図り、廃棄物を削減する。 設備のメンテナンス実施で稼働を維持する。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物削減は、受入量の増加で処理量が増え廃棄物も増えた為、目標未達成。 次年度も、今年度の実績を基に目標値を見直し、取り組む。
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水の励行 洗車時、バケツを活用 	△	<ul style="list-style-type: none"> 節水計画は実施できていたが、目標未達成でした。 次年度も、今年度の実績を基に目標値を見直し、取り組む。
3Sの実践	<ul style="list-style-type: none"> 整理・整頓・清掃実施 汚した場合の清掃実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり目標達成。 次年度も継続して取り組む。
地域貢献活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な地域清掃の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり目標達成。 次年度も継続して取り組む。

[注-1] 達成度評価記号 ○：良好（100%以上）△：やや不足（90～100%）×：不適合（90%未満）

8. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」です。その他の関連する法規等について、2024年8月に環境関連法規等のとりまとめた「法規制等の一覧及び順守評価記録」に基づき、順守評価を実施しました。

また、関係機関及び本社並びに工場近隣からの違反の指摘や訴訟等もありません。

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託契約書の締結 ・ マニフェスト管理 ・ 産業廃棄物管理票交付等 状況報告書の提出 	<p>遵守</p> <p>遵守</p> <p>遵守</p>
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設プレス機 騒音測定 1回/月 	遵守
振動法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設プレス機 特定施設の届出 	遵守
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守点検・清掃実施 	遵守
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備点検の実施 ・ 火災訓練の実施 	<p>遵守</p> <p>遵守</p>
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易点検実施 3ヶ月/1回 	遵守

(1) 事業許可一覧（*積替え保管：無し）

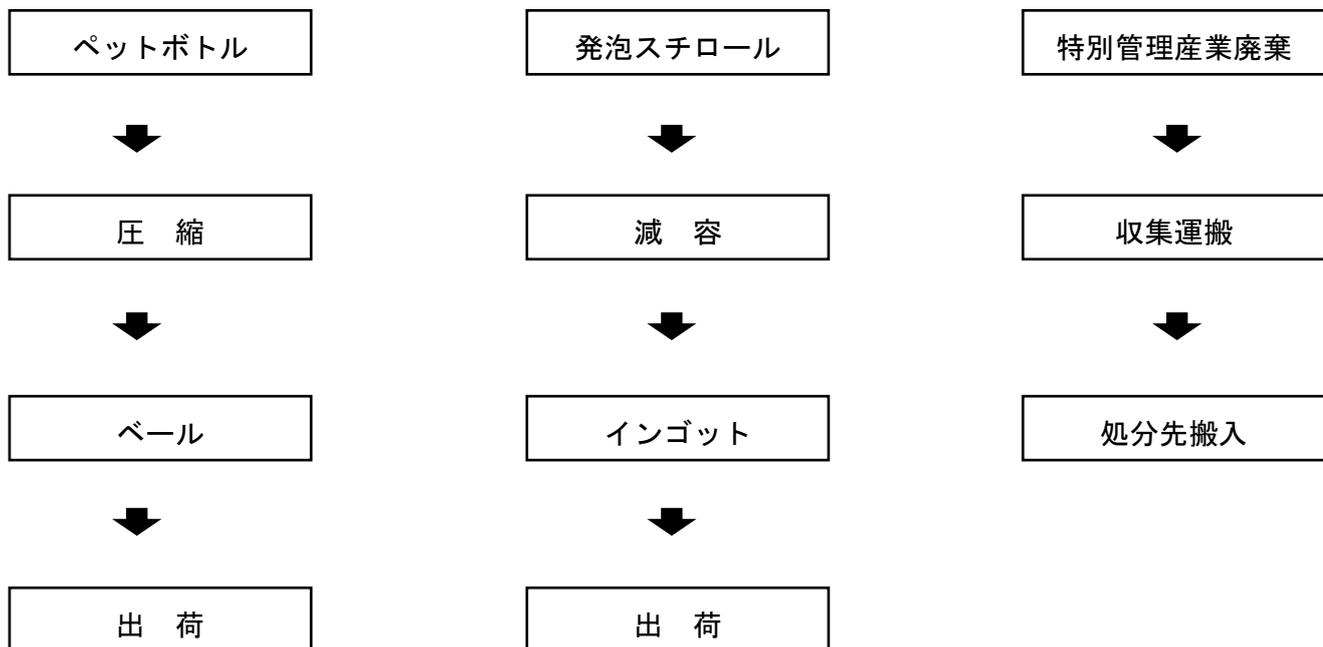
許可番号	事業の範囲	許可の年月日	有効期限
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 鳥取県 03101002312 (優良)	汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ 廃プラスチック類・紙く ず・木くず・繊維くず・ 動植物性残さ・金属くず ガラスくず等・がれき類の 収集運搬（水銀使用製品含む）	令和 5 年 4 月 20 日	令和 12 年 4 月 19 日
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 兵庫県 02804002312 (優良)	廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プ ラスチック類・紙くず 金属くず・ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁器くず の収集運搬（水銀使用製品含む）	令和 6 年 7 月 19 日	令和 13 年 7 月 18 日
特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可番号 鳥取県 03151002312 (優良)	感染性産業廃棄物（限定無） 廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以 下）の収集運搬	令和 5 年 4 月 20 日	令和 12 年 4 月 19 日
特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可番号 兵庫県 02854002312 (優良)	感染性産業廃棄物 （限定無し）の収集運搬	平成 30 年 6 月 7 日	平成 37 年 6 月 6 日
産業廃棄物処分業 許可番号 鳥取市 12821002312 (優良)	廃プラスチック類 中間処理：破碎溶融 圧縮梱包 廃プラ圧縮能力：1.1t/日 発泡スチロール減容能力：0.4t/日	令和 5 年 4 月 20 日	令和 12 年 4 月 19 日

※専ら物・空缶類（金属）は専ら物の許可の範囲で圧縮してリサイクルしています。

(2) 収集運搬車両の種類（合計 3 台）

機器名（車種）	性能	台数	特記事項
トラック	3t	2台	箱車
トラック	4t	1台	箱車

3) 処理工程



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、リサイクルの推進・軽油使用量が目標達成することが出来ました。

昨年度未達成という事で、収集運搬ルート・営業活動の見直しを図り、効率稼働で生産性の向上に取り組む事が出来た結果だと思えます。

E A21 の取組に対する社員の意識・行動が高まり社員一丸となって活動出来たと高い評価です。

しかし、電力使用量・産廃排出量は目標未達成でした。

これは、受入量の増加に伴い、稼働時間・処理量の増加で結果は伴っていると考えています。来年度は、今年度を基準にして目標を見直し引き続き作業効率・安全性・機械の定期点検で生産性の向上に取り組んでください。

昨今の、物価・燃料費の高騰を踏まえて、社員一丸となり節電・節エネルギーを推進していきたいと考えます。

一人一人の意識の積み重ねが結果につながると信じ、来年度も、目標達成に向け社員一丸となりエコアクション 21 に取り組んで参ります。